



駅東口が生まれ変わる

赤い部分のエリアで秋田駅東西の一体的な整備をすすめています

秋田駅東口駅前広場

東口駅前広場は土地区画整理事業で整備するもので、拠点センターと一体となり魅力ある都心空間をつくります。

広場には、バス、タクシー、自家用車の乗降スペースを確保。ロータリー形式で歩行者と車が安全で快適に利用できるようにします。



平成十六年度の完成をめざしている東口駅前広場。宅地開発や道路整備が進み、市の交通の要衝として位置づけられる駅東地区のまちづくりの要として整備するものです。

東口駅前広場はロータリー形式にし、路線バスや観光バスの

16年度に東口広場、 周辺道路も整備中

秋田駅周辺では、県都の玄関口にふさわしい街並みにしようと、上図のエリアを「まちづくり総合支援事業区域」とし、「ゆとりとにぎわい」をコンセプトに整備を始めています。

平成九年に駅舎が新しくなり、十二年には西口方面に「ぼぼろーど」や大屋根も完成。今後は、東口周辺も整備していく予定で、JR跡地などの空閑地を活用し、駅前広場や(仮称)拠点センターを整備していきます。東口周辺にも新しい都市機能を集積させ、魅力ある都心空間を創っていくのがねらいです。

平成十六年夏の完成をめざす(仮称)拠点センターの建設準備も進んでいます。この施設は、民間企業グループが建設するもので、民間棟と市が購入する公共棟からなる複合ビルです。駅周辺の核として建設することで、若者を中心に幅広い世代が集う、にぎわいの拠点を創り出したいと考えています。

現在は、基本計画を踏まえ、早期着工に向けて設計作業を進

拠点センターで 幅広い世代が集う にぎわいづくり

ターミナル、タクシーや自家用車の乗降スペースを確保。隣接地には、駐輪場や公衆トイレなども設けます。現在は、広場周辺の道路整備も行っており、手形東通線の一部は三月中に完成する予定です。



工事中の手形東通線。今年度中に約180メートルの区間が完成し、秋田駅東中央線に接続します